

請 願

<p>【請願名】 少人数学級の推進を含む計画的な教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願</p> <p>【提出者名】 連合広島大竹・廿日市地域協議会 議長 岡村 将城</p> <p>広島県教職員組合 大竹廿日市支区 委員長 米田 実穂</p>	<p>【要旨】</p> <p>小学校の学級編成標準が学年進行により段階的に35人に引き下げられます。今後、小学校だけに留まるのではなく、中学校・高等学校でも35人学級の早期実施が必要です。さらに、きめ細やかな教育を行うためには、30人学級の実現が不可欠です。</p> <p>学校現場では、新型コロナウイルス感染症対策による教室の消毒作業等や貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子ども達のゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。</p> <p>一人一人の子どもに対してきめ細やかで丁寧な対応を行うためには、「働きかた改革」はもちろんのこと、国庫負担に裏付けされた少人数学級の推進と、加配の増員など計画的な教職員定数の改善が求められています。</p> <p>また、義務教育費の国庫負担については、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられ地方自治体の財政を圧迫しています。</p> <p>将来を担い、社会の基盤づくりに欠かせない子ども達の教育は極めて重要であり、教育の機会均等が担保され教育水準が維持・向上されるよう施策を講じ、教育予算を国全体として確保・充実させる必要があります。</p> <p>つきましては、意見書（案）を9月定例会において採択していただき、国の関係機関へ提出していただきますようお願い申し上げます。</p>	<p>【付託委員会】 総務文教委員会</p> <p>【委員会の結果】 採択</p> <p>【本会議の結果】 採択</p>
--	--	--

継続審査中の請願

陳情書名：公立・公的医療機関等の「再検証」要請の白紙撤回、および地域医療構想の見直しに関する請願

陳情提出者：田中 治績、大崎 ほか、住田 隆司、桜井 和春

③ 提出先

市役所5階の議会事務局に提出してください。事前に、お電話でのご相談も受け付けています。
(059-21183)
 詳細は市ホームページ↓議会事務局↓請願・陳情についてをご覧ください。

件名（請願の場合）

令和__年__月__日

大竹市議会議長 _____ 様

住所 _____

氏名 _____ (印)

紹介議員 _____ (印)

趣旨 _____

項目・ _____

※署名の場合は押印不要

② 書き方

※請願書の提出には、市議会議員の紹介が必要です。

請願・陳情は、国や自治体に対して一定の処置を求めるものです。

① 請願と陳情とは

どなたでも市政に対する意見や要望を直接、市議会に届けることができます。

請願や陳情の提出方法